

## 症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	女 50代	クリプトコッカス性肺炎 (なし)	不明 1ヵ月間	<p>好酸球増加と全身症状を伴う薬物反応</p> <p>投与開始日 本剤の内服を開始した。</p> <p>投与1ヵ月後 肝障害及び軀幹・四肢に強い掻痒を伴う紅斑が発現した。薬 (投与中止日) 剤アレルギーが疑われ、本剤を中止した。 肝障害、皮疹は一旦改善した。</p> <p>中止1週間後 39℃台の発熱、皮疹及び肝機能の増悪を認め、皮膚科に紹介 となった。</p> <p>皮膚科初回受診時、著明な顔面腫脹、開眼困難、全身に及ぶ 発赤を認めた。白血球・好酸球の増多、リンパ節腫脹があり、 経過から薬剤誘発性過敏症症候群と診断された。</p> <p>患者は入院し、ステロイドパルス療法が行われ、症状は次第 に軽快した。</p> <p>HHV-6の再活性化はペア血清にて確認したが、本剤のリンパ 球刺激試験 (DLST) は治療期間中複数回試みたもののいずれも陰性であった。</p>
併用薬：なし				